

















		評価項目																				備考																		
都道府県	医療機関名	Q1	Q2	7.1				7.2				25				28				32				37.1				37.2				40				41				
		入院数(患者数)	新型コロナウイルス患者数	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化		影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化		
石川県	公立能登総合病院	201~300	新型コロナウイルス感染症に係る地域住民の予防と治療に邁進しました。予防に係る毎日のワクチン接種では医師が全員参加で予診担当とアナフィラキシー担当の2人セットで、住民の不安解消等総合的な相談役を担いました。また、一方で診療において、病院職員全員が入院から退院まで一連のレッドゾーンを確保するため他の患者との分離を測りながら、時間を問わず最善を尽くしました。		438人																																9項目はほぼ満たしており、B評価になることも承知している。実情を伝えたため提出した。  (対応方針)ご意見として承ります。			
長野県	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院佐久医療センター	201~300	県から入院病床確保の要請あり15床を確保して患者受入を行った。重症患者、休日夜間救急、妊婦、透析、小児など地域の病院で受入できない患者を受入した。																																	救急対応教育委員会があり、多職種参集による院内急変スタッフコースを企画した。  (対応方針)医療従事者への教育ついて、新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、令和4年に実施できなかった事情を考慮し、新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年充実段階評価と同じ評価とする。				
静岡県	中東遠総合医療センター	301~400	新型コロナウイルス感染症発生当初のダイヤモンドプリンセス号の患者受入から、コロナ専用病床の設置や、保健所に代わり自宅療養者への電話での健康チェック、軽症者の療養ホテルの運営、構成市(掛川市・袋井市)と共同のワクチン接種、感染の認定看護師による施設への訪問指導等、様々な業務を行った。																																	関連消防機関とJPTECなどのシミュレーションコースを計画していたが、開催予定日にクラスターが発生し、地域においても新型コロナウイルスが流行したため、やむなく中止した。  (対応方針)医療従事者への教育ついて、新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、令和4年に実施できなかった事情を考慮し、新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年充実段階評価と同じ評価とする。				
愛知県	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	701~800	当院は、愛知県より重点医療機関に指定され、中等症II(酸素投与が必要な者等)以上の患者を積極的に受け入れてきました。県民の生命を守る上で必要な医療体制を確保し続けてることで、地域に貢献してきました。																																救命救命救急センターの看護師等が新型コロナウイルス感染症専用病棟の応援や院内クラスター発生などで、業務多忙になり、年1回シミュレーションを行うことが出来なかった。  (対応方針)脳死判定のシミュレーション等について、新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、令和4年に実施できなかった事情を考慮し、新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年充実段階評価と同じ評価とする。					
愛知県	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	101~200	コロナ輸番等や行政からの受診要請、近医紹介の患者が搬送される事例が多くその都度、職員が(土日祝日含む)調整をとっている																																コロナ禍であったので今年の5月あたりから実施予定  (対応方針)令和元年も実施していなかったため、コロナの影響を受けたと認めるのは困難。					



		評価項目																			備考	
都道府県	医療機関名	Q1	Q2	7.1		7.2		25		28		32		37.1		37.2		40		41		
		入院数(患者数)	新型コロナウイルス患者数	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	
大阪府	大阪大学医学部附属病院	301~400	大阪コロナ重症センターへ医師を常時1名派遣してコロナ患者の重症治療を担当し、救命センター専属MSWも適宜派遣してベッドコントロールを支援した。大阪府ワクチン接種後の副反応に対する専門医療体制において、支援医療機関の役割を担い患者も受け入れた。コロナ感染患者のうち、特に重症患者については、できる限り断らず、当該期間1年間のみで人工呼吸器を要する重症例64例(ECMO装着9例を含む)を受け入れ、コロナ禍において救命救急センターの役割を最大限果たした。	○	×	○	×	○	×	○	×											
大阪府	大阪医科薬科大学病院	401~500	救命救急センター開設以前から、大阪府新型コロナウイルス感染症重点医療機関として最大20床の病床確保を行うとともに、妊婦コロナ患者専用病床として12床を確保し、三島医療圏のみならず医療圏外からも患者の受け入れを積極的に行ってきた。大阪府三島救命救急センター開設後の救命救急センター開設後には、確保病床を最大25床まで増床しており、地域における新型コロナウイルス感染症診療の最後の砦として機能を果たしている。	○	×	○	×	○	×	○	×							○	○			

新型コロナウイルスで増加した病院選定が困難な症例(67例)を医療圏に関わらず受け入れた。また、小児症例についても病院選定が困難になりがちであるため、当院では全例(107例)断らずに受け入れた。重症救急患者の積極的な応需に努めたものの、前述のような患者(計164例)は重篤とは限らないため、年間に受け入れた重篤患者数が減少したと考えられた。

(対応方針)  
令和4年の所管人口10万人あたりの重篤患者数は、167人と、新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年の139人よりも増加しており、新型コロナウイルス感染症まん延による影響と認めるのは困難。

来院時のウイルス抗原検査、結果判明までの待ち時間などにより、患者の初療室の滞在時間が長くなった。初療室内での並列診療が出来なくなった。個人用防護具の着脱に時間を要した。家族の濃厚接触や感染により看護師が相対的に不足した。これらにより、受入救急車搬送人員が少なくなった。

(対応方針)  
令和4年の所管人口10万人あたりの救急搬送受け入れ人員数は、387人と、新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年の252人よりも増加しており、新型コロナウイルス感染症まん延による影響と認めるのは困難。

新型コロナウイルスの影響により、後送病院への患者搬送が困難な状況となり、一時的に院内の病床が逼迫する期間が一定期間あった。また、これまでコロナ確保病床のうち、最大5床又は2床を運用している(救命救急センターのICU)。これらの理由により、本来当院で受け入れ可能であった重篤患者の診療をやむを得ず応需不可とせざるを得ない状況があった。なお、当院は7月に救命救急センターを開設しているため、半年の期間での患者数であることも考慮したい(半年の実数を12か月で計算した場合、3点の計算となる)。

さらに、救命救急センターのホットラインの他、大動脈ホットライン・赤ちゃんの心臓ホットライン・循環器内科ホットライン・脳卒中ホットライン・周産期ホットラインを開設しており、現状データ集計体制が完全に構築されていないため、患者数の計上に至っていないが、これらホットラインにおいては年間で300名程度の重篤患者を受け入れている(次年度分以降に向けて、データの集約体制を構築中である)。

(対応方針)  
従前の対応として、新規開設の救命救急センターについては、開設した日から12月31日までの実績を計上して当該年における充実段階を評価してきているため、本年のみ特別の対応をおこなうことは他のセンターとの平等性の確保の観点から困難。

新型コロナウイルス感染症の影響については、7.1及び25に記載のとおりである。こちらも半年の期間での受入重症患者数による評価であることを考慮願いたい。

(対応方針)  
7.1の並びで対応する。

院内医師講習として定期的にICLSコースを開催している。対外的には、大阪府三島救命救急センター医師(現在は当院に移籍)と当院医師により日本災害医学会のMCLS(Mass Casualty Life Support)コースを開講していたが(世話人は当院の医師)、新型コロナウイルスの影響により長らく開催できていない。今後は同コースを対外的に展開する予定としている。

(対応方針)  
医療従事者への教育について、新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、令和4年に実施できなかった事情を考慮し、新型コロナウイルス感染症発生前に実施していたことから加算することとする。















		評価項目																		備考			
都道府県	医療機関名	Q1	Q2	7.1		7.2		25		28		32		37.1		37.2		40			41		
		入院数（患者数）	新型コロナウイルス患者数	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	地域貢献度	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	影響該当	点数の変化	
沖縄県	浦添総合病院	301~400																					<p>新型コロナウイルス感染症院内クラスター発生等により院内災害訓練及び研修の開催が困難な状況であったため。なお、都道府県又は地域での災害訓練へは参加している。</p> <p>○ ○ (対応方針) 災害に関する教育について、新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、令和4年に実施できなかった事情を考慮し、新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年充実段階評価と同じ評価とする。</p>